

# 平成22年度に樹立・策定する利根上流計画区の概要

## 1 現行計画の概要

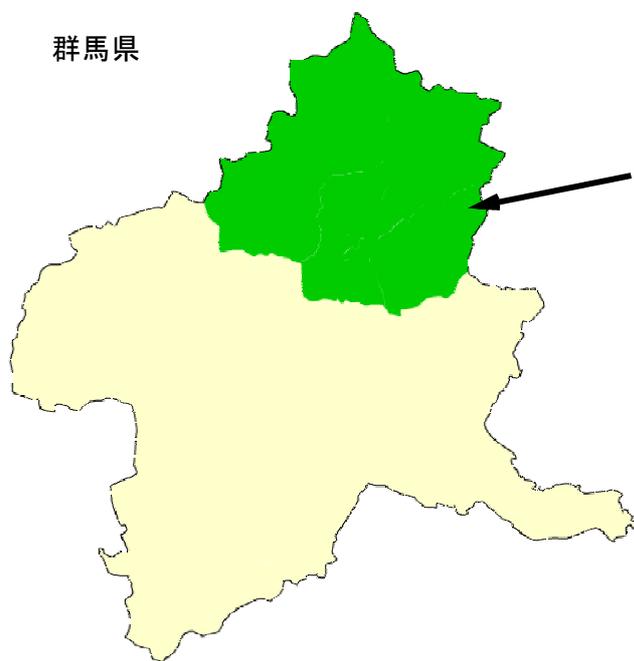


武尊山登山口



谷川岳一の倉沢

群馬県



利根上流森林計画区

### (1) 森林計画の概要

#### ア 位置

当計画区は、群馬県の北部に位置し、沼田市、片品村、川場村、昭和村及びみなかみ町の国有林野97千haを対象。

#### イ 国有林の特徴

- ・谷川連峰、奥利根源流部の山岳地帯と尾瀬ヶ原ブナ林が広がる水源林地帯。
- ・利根川本流と赤谷川、片品川等の源流部に広がる森林は首都圏の水源。
- ・谷川岳をはじめとする登山、スキー場、温泉、尾瀬の玄関口など、森林との結び付きが深く、多くの人々が利用。
- ・みなかみ町猿ヶ京温泉から新潟県境にかけての地区において「赤谷プロジェクト」を展開。
- ・谷川岳周辺＝上信越高原国立公園
- ・至仏山東側周辺＝尾瀬国立公園

#### ウ 森林資源の状況

- ・天然林が約57千ha、人工林が約29千ha。
- ・人工林のうち、約8割が間伐期(21年生～55年生)。

#### エ 機能類型別面積

水土保持林が約60千ha、森林と人との共生林が約35千ha、資源の循環利用林が約2千ha。



谷川岳山頂

(2) 現行計画の概要

ア 保護林等

保護林	10箇所	11,701 ha
緑の回廊	2箇所	6,323 ha

イ レクリエーションの森

自然休養林	1箇所	1,394 ha
自然観察教育林	3箇所	133 ha
森林スポーツ林	2箇所	211 ha
野外スポーツ地域	18箇所	3,506 ha
風景林	6箇所	779 ha
風致探勝林	5箇所	329 ha
その他	10箇所	7 ha

ウ 国民参加の森づくり

ふれあいの森	56 ha
遊々の森	16 ha

エ 伐採・保育事業量

主伐	90,277 m <sup>3</sup>
間伐	320,963 m <sup>3</sup>
造林	259 ha
下刈	950 ha
つる切	232 ha
除伐	456 ha
枝打	152 ha

オ 林道の事業量

林道開設	5路線	11,000 m
林道改良	58路線	4,640 m

カ 治山の事業量

溪間工・山腹工	85箇所
保安林整備	703 ha

## 2 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、国土の保全、水源のかん養のほか、国民の皆さんからの期待が高い地球温暖化の防止や生物多様性の保全などにも取り組んでいく考えです。

- (1) 地球温暖化防止のための森林吸収源対策やそれ以外の公益的機能の発揮のため、間伐などの森林整備を推進。
- (2) 保護林などでモニタリング調査を実施し、今後の保護林などの設定や取扱いに反映。
- (3) 天然林を保護するため、シカの剥皮被害対策を実施。
- (4) ボランティア団体などによる森林づくりへの支援。
- (5) 治山事業により荒廃地の復旧整備や保安林の整備を計画的に推進。
- (6) 路網と高機能林業機械を組み合わせた低コスト・効率的な作業の普及。
- (7) 赤谷プロジェクトの取り組みを森林計画に反映

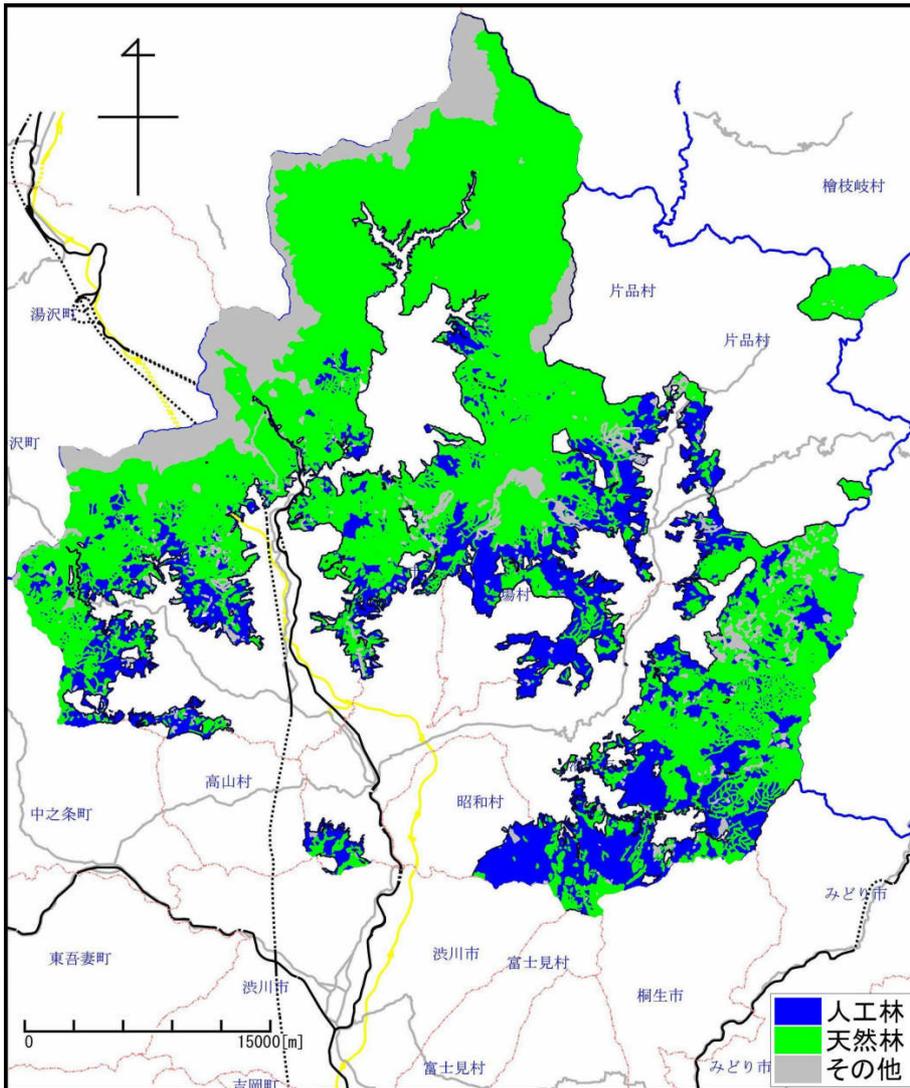
参考 1

## 市町村別森林面積等

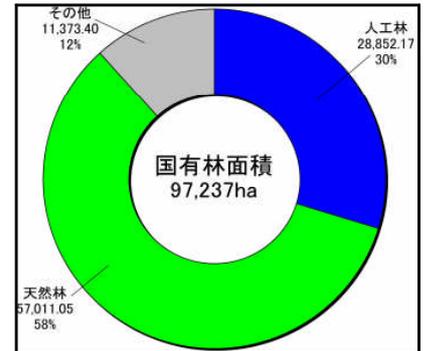
市町村名	町村面積 (ha)	森林面積 (ha)	うち国有林 (ha)	森林率 (%)	国有林率 (%)
沼田市	44,337	35,120	25,682	79	73
片品村	39,201	35,956	9,178	92	26
川場村	8,529	7,341	4,411	86	60
昭和村	6,417	2,593	1,186	40	46
みなかみ町	78,091	69,988	56,780	90	81
合計	176,575	150,998	96,722	86	64

# 人工林・天然林

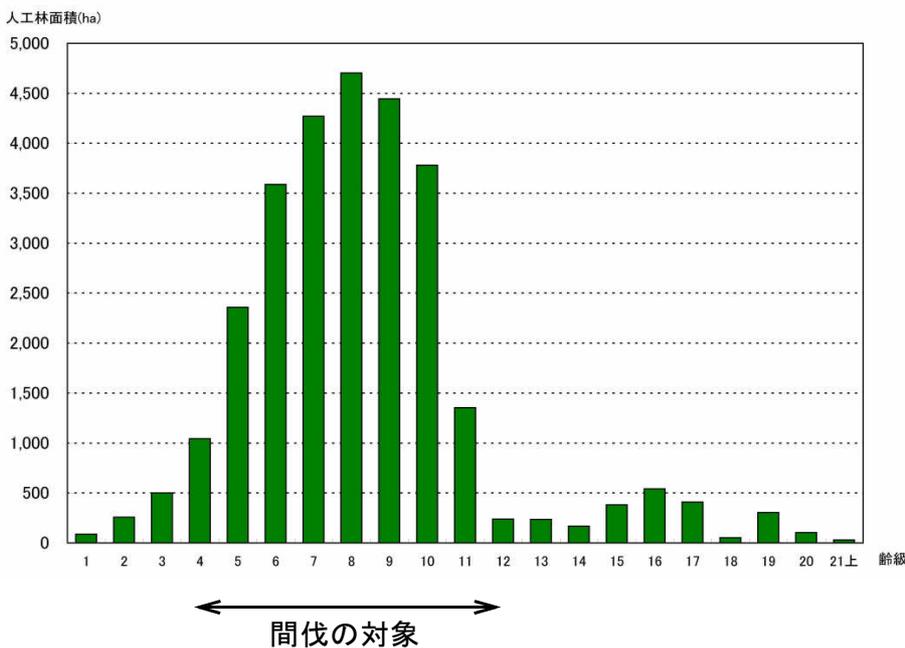
人工林・天然林の分布状況



人工林・天然林別割合



人工林の齢級別面積



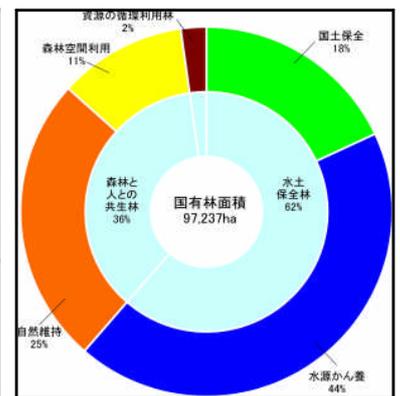
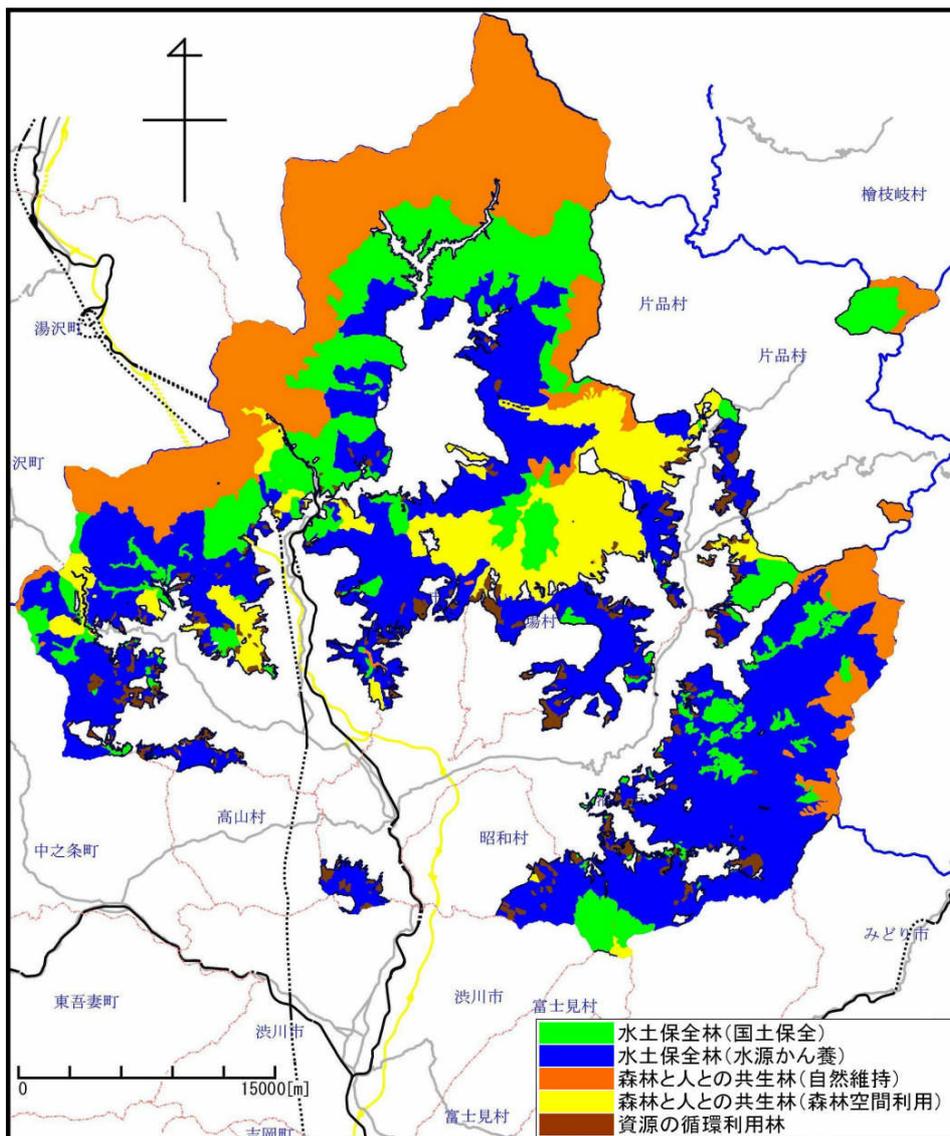
人工林の齢級別では5齢級(25年生)~11齢級(55年生)が多く、間伐の対象となる森林が多いことから、計画的な間伐を実施する必要があります。

## 機能類型

機能類型区分について

国有林を水土保持林、森林と人との共生林、資源の循環利用林に区分しそれぞれの機能類型にふさわしい管理経営を推進。

水土保持林 (国土保全タイプ・水源かん養タイプ)	森林と人との共生林 (自然維持タイプ・森林空間利用タイプ)	資源の循環利用林
<b>目標とする森林の姿</b>		
土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林	原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全や、国民と自然のふれあいの場としての利用を重視する森林	環境に対する負荷が少なく、再生産が可能な素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林
<b>森林の取扱い</b>		
樹根や表土の保全、下層植生の発達が期待される育成複層林施業、長伐期施業等を推進	野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等を推進	森林の健全性を確保しつつ、多様化する木材需給に応じた林木を育成するために適切な更新、保育及び間伐を推進

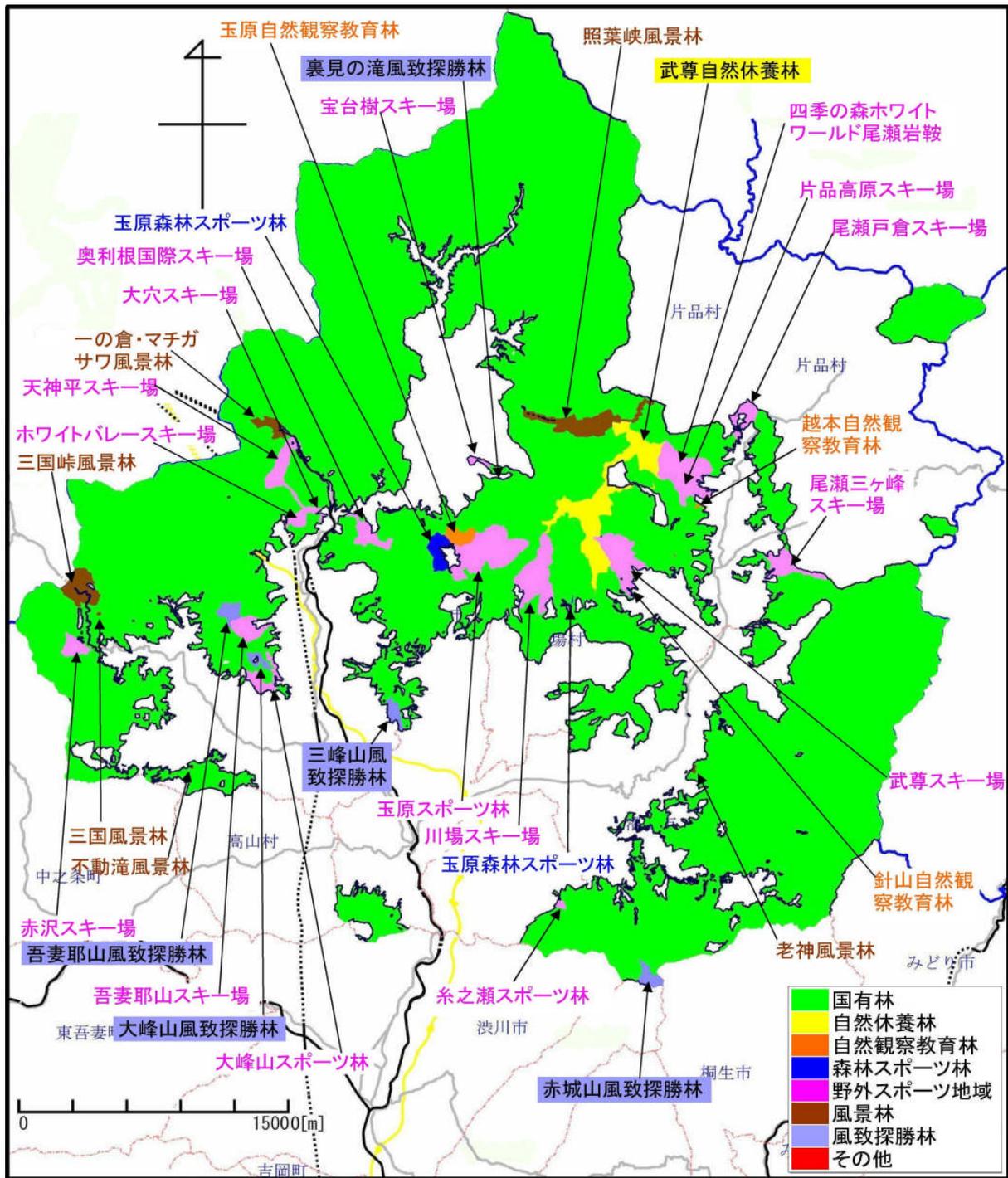


当計画区の機能類型は、水土保持林62%、(国土保全タイプ18%、水源かん養タイプ44%)、森林と人との共生林36%(自然維持タイプ25%、空間利用タイプ11%)、資源の循環利用林2%となっています。

越後山脈の尾根沿いには自然維持タイプが広がり、武尊山南面を中心に森林空間利用タイプが広がっています。



# レクリエーションの森



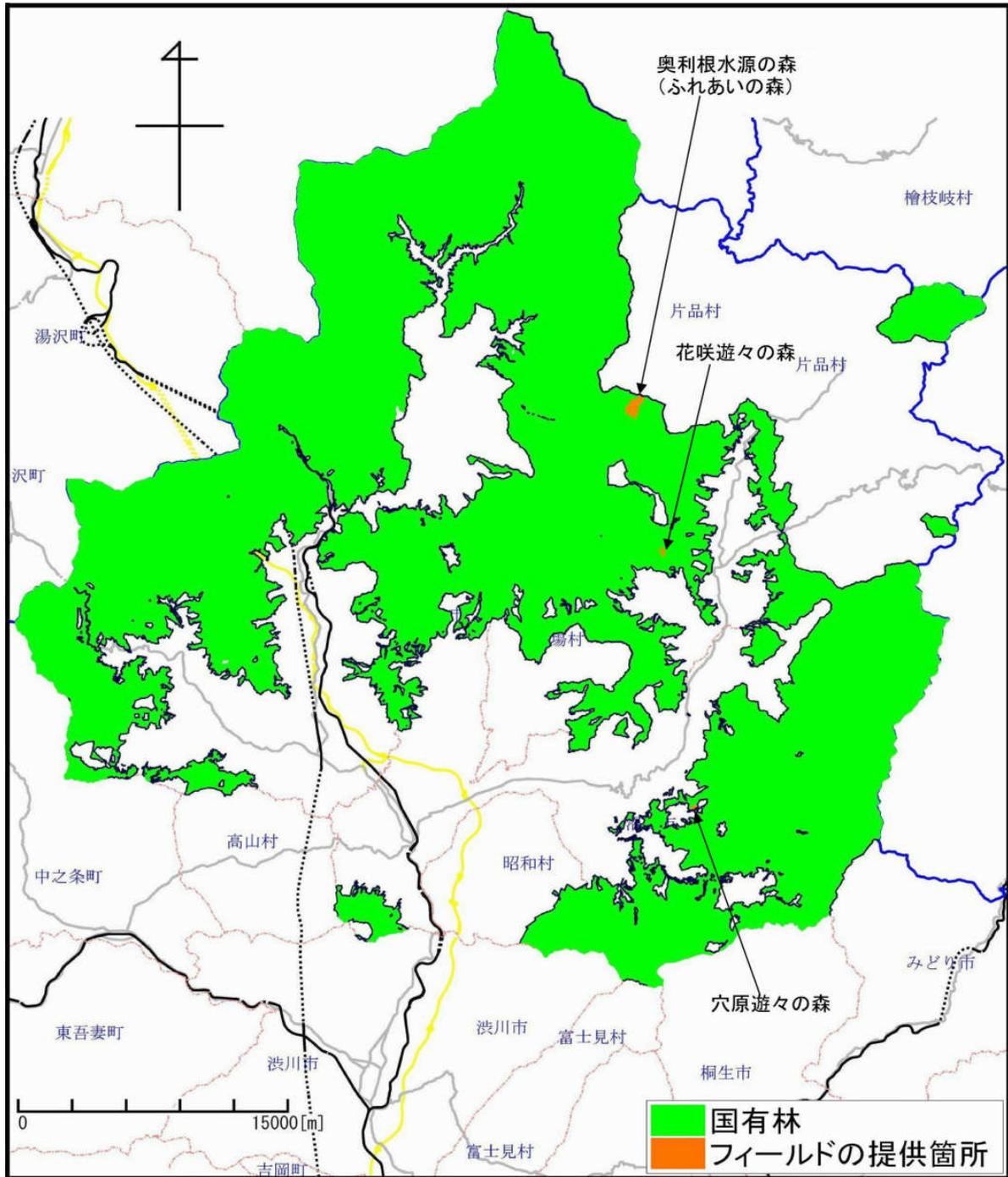
名称	特徴	面積(ha)
自然休養林	人と森林とのふれあいの場としてゾーン分けした地域	1,394
自然観察教育林	当該地方の特徴的な自然や特異な自然景観等を有し自然科学教育等に適した地域	133
森林スポーツ林	森林を主体とする野外スポーツの場として適した地域	211
野外スポーツ地域	スポーツ施設及び滞在施設等の設置に適した地域及びその周辺の森林	3,506
風景林	レクリエーション利用上の近景林、遠景林として風致の維持に配慮する必要がある地域	779
風致探勝林	湖沼、溪谷と一体となって優れた自然美を構成している森林等で森林内における休養活動を助長することに適した地域	329
その他	単独でレクリエーションの施設の用に供される地域	7

玉原スポーツ林



# 国民参加の森づくり

森づくり活動や森林とのふれあいの場として各団体にフィールドの提供を行っています。



ふれあいの森	56ha
遊々の森	16ha

奥利根水源の森(ふれあいの森)